



子ども達の森の健康診断 in宗賀小学校



令和5年9月20日

宗賀小学校4年生・教員、どんぐりプロジェクトメンバー、宗賀財産区議員、
緑の基金事務局員

一般社団法人塩尻市森林公社



1.学び



宗賀小学校(32名)の皆さんと 「子どもの森の健康診断」を実施しました。



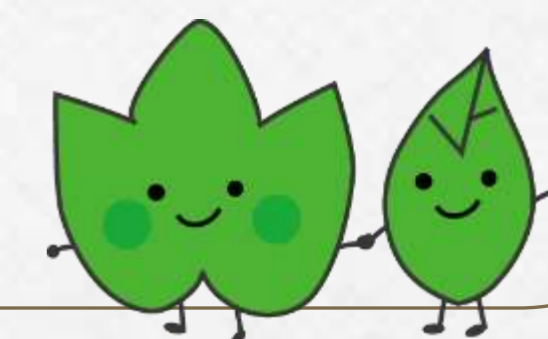
天候に恵まれ、木の葉が揺れ、木の香りが漂う中始まった「森の健康診断」。
まずは森の勉強です。公社職員から、木の種類や森のはたらき、森林整備の必要性などについて、紙芝居や写真を使って学習します。



2、調査

調査開始。

まずは、目を閉じ、耳を澄まして、五感で森を感じます。鳥のさえずりや草木の香り、地面の感触や明るさなど、それぞれに感じたことを発表し合います。



釣り竿などを使って木の混み具合を調べます。また、木の胸高直径を巻尺を使って調べます。測い終えたら「早見表」を使って混み具合の診断です。

3. 体験

さあ、いよいよノコギリを使って木を伐倒します。木を伐るにはまず、「受け口」と「追い口」を作ります。ふだん使ったことのないノコギリに苦戦しながら、一生懸命伐ります。後はみんなで力を合わせ、ロープを引っ張り倒します。

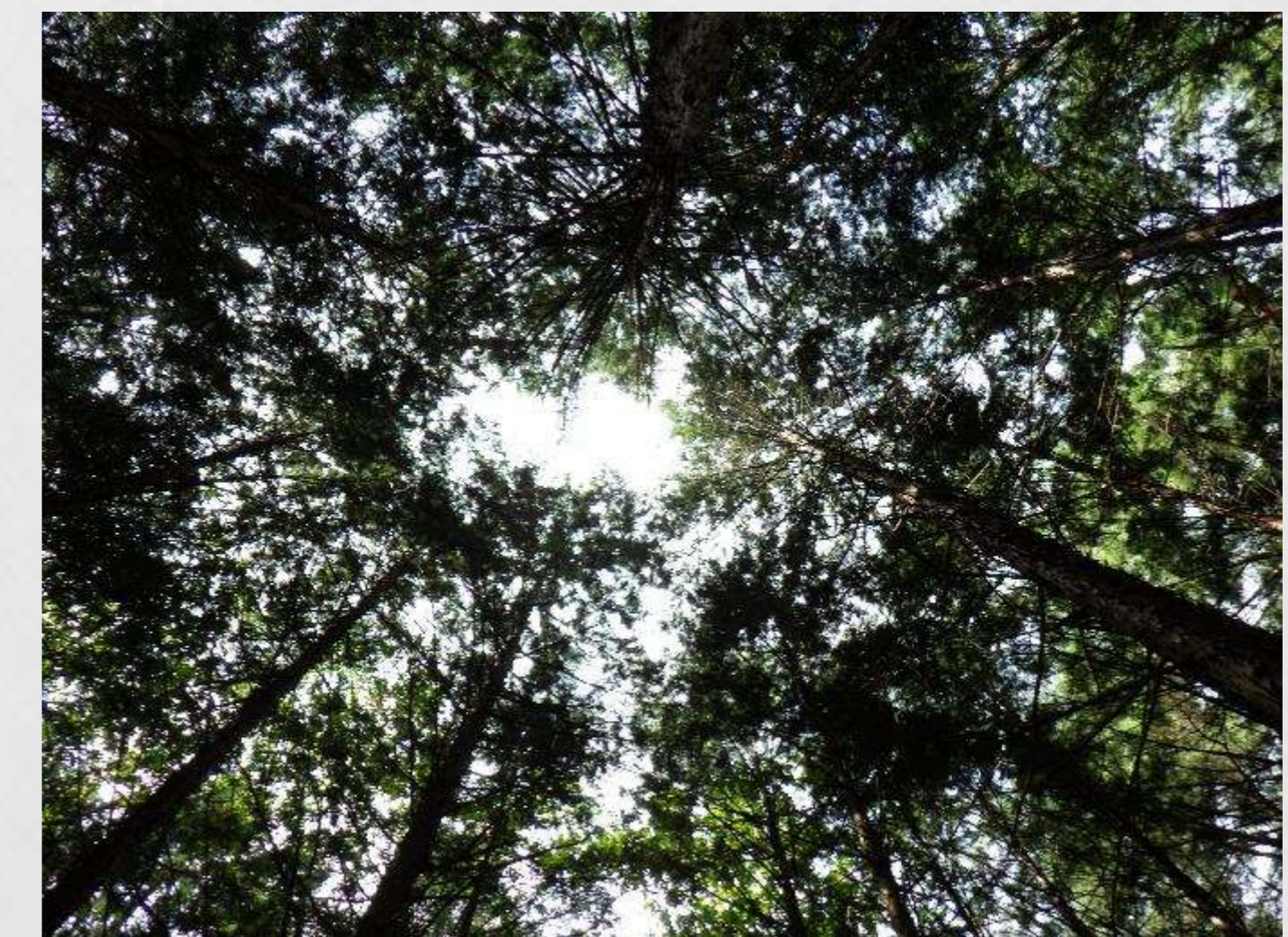
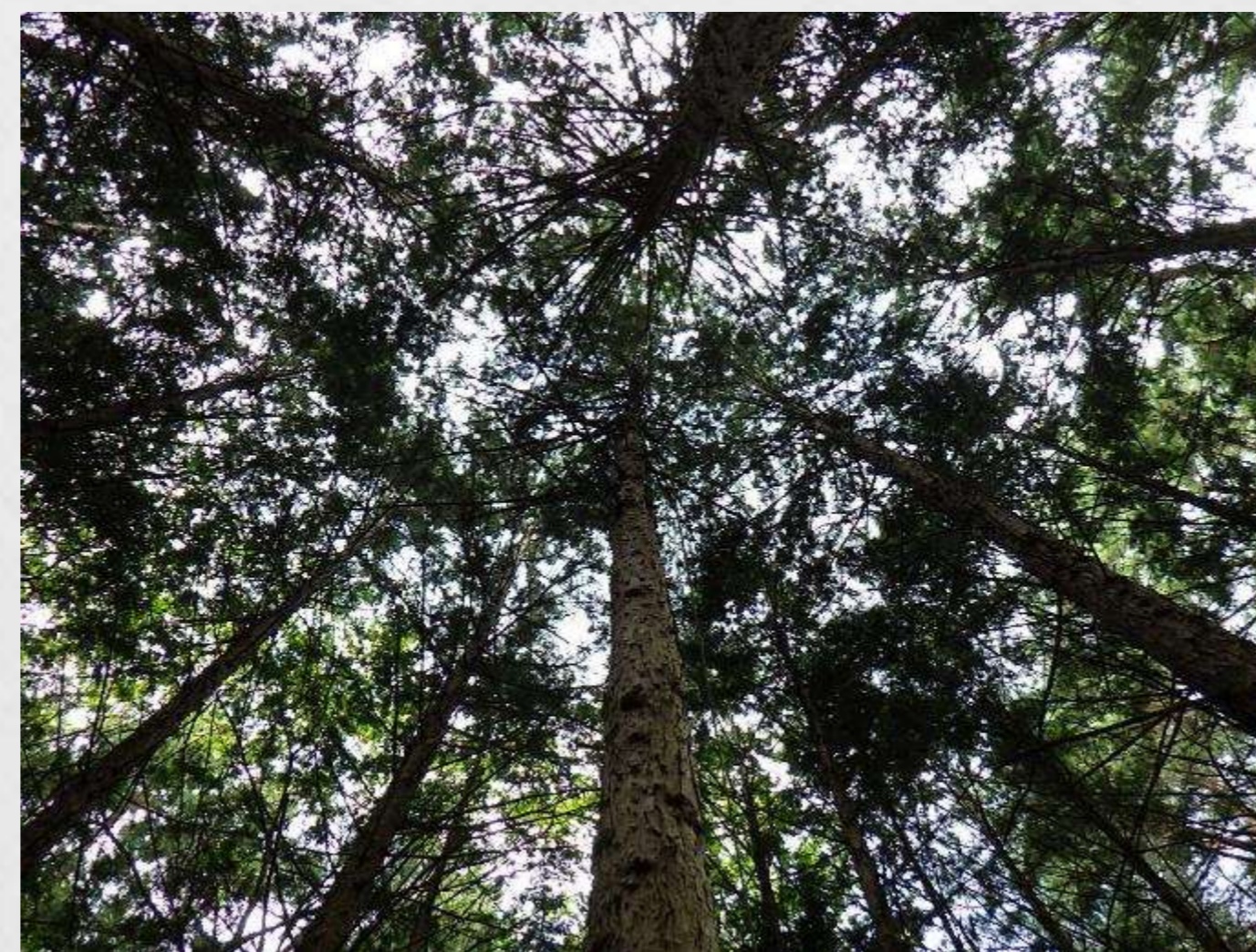


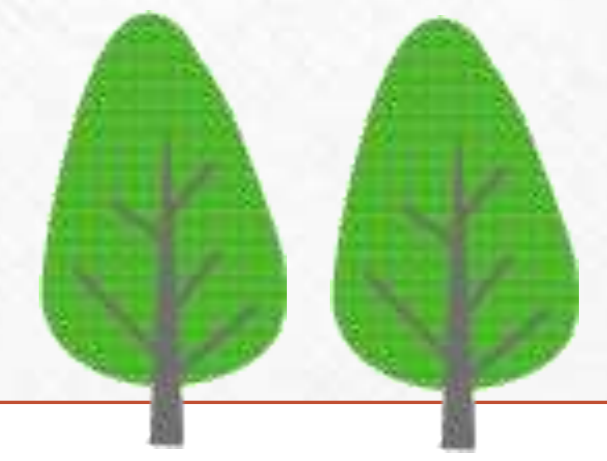
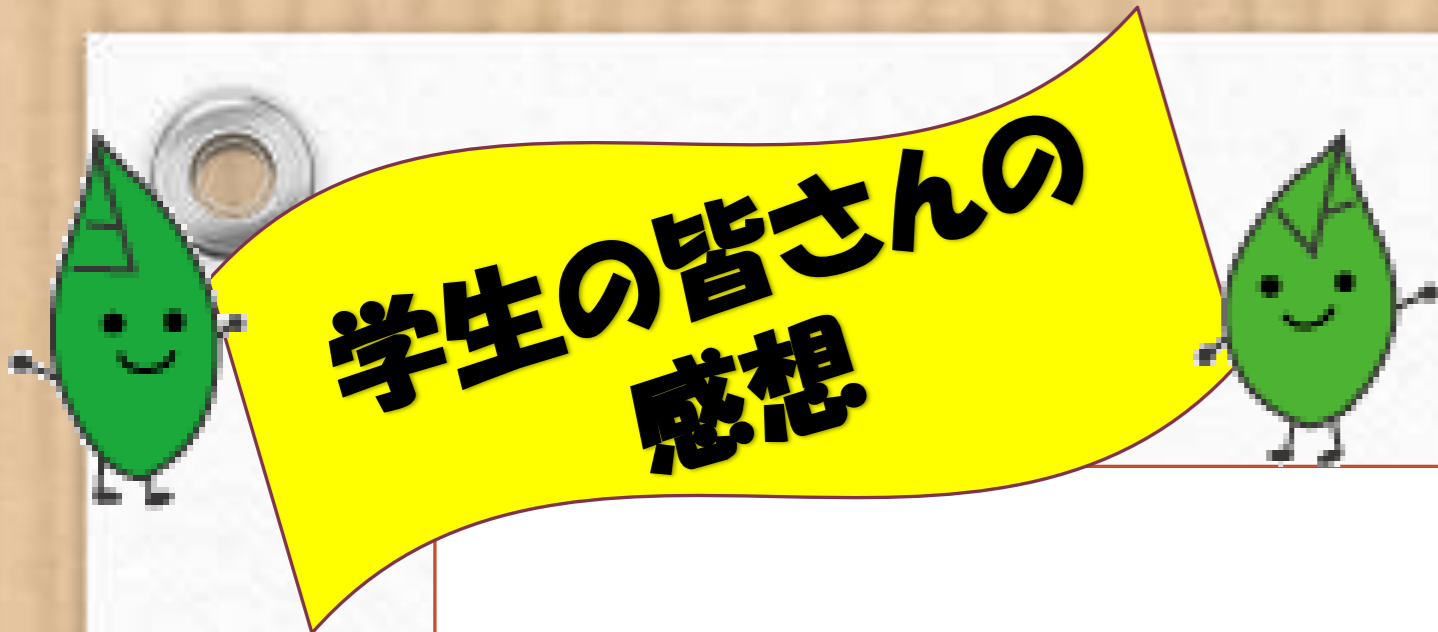
Before



After

間伐したことで、空が開きます。間伐はとても大事な作業。これで、日光も当たり、草木が生えることで森が健康になります。





口木を倒したけど、あと7本(フロット調査結果より)も倒さないといけないだなんて、森の整備は大変。

口皆で引っ張って木を倒せて楽しかった。

口楽しかった。森のことが分かった。



森の健康診断を通して、幅広い世代が、山を身近に感じ、山の素晴らしさを知り、山に囲まれているこの塩尻をさらに好きになってもらえたら嬉しいです。言葉で山の魅力を伝えることには、限界があります。山に入り、肌で感じ、体験することで、より深く山のことを学習できると感じています。そして、ここでの体験が記憶の中にとどまり、将来へと引き継がれていくことを願っています。

「山を守り、育て、共に生きる」

私たち塩尻市森林公社は、これからもこの活動を続けていきたいと思ひます。

